日本語能力試験Can-do自己評価リスト（JLPT Can-do）「読む」

このリストは、「日本語能力試験の各レベルの合格者が、日本語でどんなことができると考えているか」を、受験者の自己評価調査の結果に基づいてまとめたものです。

日本語能力試験のシラバス（出題内容）ではありません。また、合格者の日本語能力を保証するものではありません。日本語能力試験が測る日本語能力や出題内容については、「認定の目安」等を参照してください。

このリストは、受験者やまわりの方々が「このレベルの合格者は日本語を使ってどんなことができそうか」というイメージを作るための参考情報としてご活用いただくことができます。

難

易

		N1	N2	N3	N4	N5
1	政治、経済などについての新聞や雑誌の記事を読んで、要点が理解できる。					
2	論説記事（例：新聞の社説など）を読んで、主張・意見や論理展開が理解できる。					
3	人物の心理や話の展開を理解しながら、小説を読むことができる。					
4	エッセイを読んで、筆者の言いたいことがわかる。					
5	関心のある話題についての専門的な文章を読んで、だいたいの内容が理解できる。					
6	敬語が使われている正式な手紙やメールの内容が理解できる。					
7	仕事相手からの問い合わせや依頼の文書を読んで、理解できる。					
8	身近で日常的な話題についての新聞や雑誌の記事を読んで、内容が理解できる。					
9	旅行のガイドブックや、進学・就職の情報誌を読んで、必要な情報がとれる。					
10	一般日本人向けの国語辞典を使ってことばの意味が調べられる。					
11	商品のパンフレットを見て、知りたいことがわかる。（例：商品の特徴など）					
12	短い物語を読んで、だいたいのストーリーが理解できる。					
13	知人や友人から来たはがきやメールを読んで、理解できる。					
14	学校、職場などの掲示板を見て、必要な情報（例：講義や会議のスケジュールなど）がとれる。					
15	新聞の広告やチラシを見て、安売り期間や値段などがわかる。					
16	駅の時刻表や案内板を見て、自分が乗る電車の時間がわかる。					
17	年賀状や誕生日のカードを読んで、理解できる。					
18	簡単なメモを読んで、理解できる。					
19	絵の付いた簡単な指示（例：ゴミの捨て方、料理の作り方）がわかる。					
20	学校などで面談の予定表を見て、自分の面談の曜日と時間がわかる。					

※各レベルの合格者が「できる」と考える割合を、4段階で示しています。
割合の推計には「合格ライン付近の合格者」のみの回答結果を使用しています。詳しくは冒頭の「リストの作成について」を参照してください。

25%未満
25%以上、50%未満
50%以上、75%未満
75%以上

©2012 The Japan Foundation, and Japan Educational Exchanges and Services.